

平成 24 年 5 月 11 日

各 位

アートスパークホールディングス株式会社
代 表 取 締 役 社 長 村 上 匡 人
(コード番号：3663 東証第2部)
問 合 せ 先：取 締 役 業 務 管 理 部 長 星 和 彦
電 話 番 号：0 3 - 3 7 1 0 - 2 9 8 5

上場廃止となった子会社（株式会社エイチアイ）に関する決算開示について

平成 23 年 4 月 2 日をもって完全子会社化した、株式会社エイチアイに関する平成 24 年 3 月期決算短信（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）について、添付のとおりお知らせします。

記

- ・株式会社エイチアイ 平成 24 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

以上

平成 24 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 5 月 11 日

会社名 株式会社 エイチアイ
 URL http://www.hicorp.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 一生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 星 和彦 (TEL)03-3710-2985
 定時株主総会開催予定日 平成 24 年 6 月 27 日 有価証券報告書提出予定日 平成 24 年 6 月 29 日
 配当支払開始予定日 ー

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期の連結業績(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	1,863	△15.7	△231	ー	△228	ー	△483	ー
23年3月期	2,210	△2.1	115	70.0	102	95.3	76	ー

(注)包括利益 24年3月期 △406百万円(ー%) 23年3月期 64百万円(ー%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	△15,621.78	ー	△24.4	△8.9	△12.4
23年3月期	2,577.05	2,402.49	3.7	4.5	5.2

(参考)持分法投資損益 24年3月期 ー百万円 23年3月期 ー百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	2,581	1,781	69.0	57,509.61
23年3月期	2,534	2,187	86.3	70,640.68

(参考)自己資本 24年3月期 1,781百万円 23年3月期 2,187百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	△228	△136	300	1,173
23年3月期	405	△298	408	1,230

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
24年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー

※注記事項

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2)会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計処理の変更 : 無
- ② ①以外の会計処理の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

24年3月期	30,974株	23年3月期	30,963株
24年3月期	—株	23年3月期	—株
24年3月期	30,973株	23年3月期	29,510株

(注)1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、21ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

1. 平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	1,856	△16.0	△229	—	△227	—	△476	—
23年3月期	2,208	△1.6	119	105.1	106	167.0	79	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	△15,375.52	—
23年3月期	2,702.01	2,518.98

(2)個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
24年3月期	2,572	1,771	1,771	1,771	68.8	57,177.91	57,177.91	
23年3月期	2,525	2,176	2,176	2,176	86.2	70,286.02	70,286.02	

(参考)自己資本 24年3月期 1,771百万円 23年3月期 2,176百万円

※監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	5
4. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	14
(7) 連結財務諸表に関する注記	15
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	22

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災や原発事故の影響による厳しい状況から徐々に生活活動及び個人消費に回復の兆しが見られつつあるものの、急激な円高進行やユーロ圏の財政問題等による企業収益悪化の懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の事業のこれまでの収益の中心であった携帯端末関連市場においては、国内・海外市場ともにスマートフォンの市場シェアが急速に拡大し、2011年度においてはスマートフォンが携帯電話端末の総出荷台数の過半数を超えてまいりました。

このように事業環境が急速に変化していく中、当社グループは中期経営戦略として、携帯電話端末の出荷台数のみに左右されない事業モデルを構築すべく、「グラフィックス関連製品の拡充およびデジタル家電機器等の非携帯分野への進出」、「サービス側への発展」を主軸として研究開発、製品リリース及び営業活動の強化を推進してまいりました。

その結果、デジタル家電機器等の非携帯分野については、デジタルカメラ、車載機、業務用カラオケ機器等へのUIソリューションの採用が進み、受託開発及びライセンス収入が本格化してまいりました。サービス側への発展についても当社グループのグラフィックス関連技術を活用した3Dアバターシステムの提供や、通信キャリア等からのサービス開発・運用を受託する等、ミドルウェア事業で培ったノウハウをサービス領域で活用する新たな事業が成長してまいりました。

これら中期戦略の成果を受けて、急激な事業環境の変化に対応すべく、当連結会計年度の重点施策として「Android向け製品・ソリューション開発」、「WebGL (HTML5) への対応」、「サービス領域への技術提供」を掲げ、これら分野への技術開発、営業強化を行うにあたり経営資源の投入と先行投資を積極的に行う事といたしました。また、経営資源の選択と集中の一環として、韓国の連結子会社 (HI KOREA & Co.) を当連結会計年度中に清算いたしました。

以上の施策の結果、当連結会計年度の売上高は1,863百万円（前期比15.7%減）となりました。営業損益につきましては、売上高の減少に伴い変動費が減少する一方で、成長分野への積極的な経営資源の投入を行った結果、231百万円の営業損失（前期は115百万円の営業利益）となりました。経常損益につきましては、借入金の増加により支払利息が増加しましたが、保険解約返戻金等の営業外収益により、228百万円の経常損失（前期は102百万円の経常利益）となりました。当期純損益につきましては、投資有価証券売却益32百万円を計上しましたが、海外子会社 (HI KOREA & CO.) の清算に伴う清算損17百万円、経営統合関連費用110百万円、投資有価証券評価損153百万円等を計上した結果、483百万円の当期純損失（前期は76百万円の当期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① ミドルウェア事業

当連結会計年度においては中期的な取り組みの成果として、フィーチャーフォン（従来型の多機能携帯端末）向けの収入に代わって、マルチメディア放送向けのHTML5対応ブラウザ「W10ブラウザ」のライセンス収入や、デジタル家電分野向けにUIソリューションである「マスコットカプセルUIフレームワーク (MascotCapsule®UI Framework)」、「マスコットカプセルタンジブレット (MascotCapsule®Tangiblet)」、「ハイグリフ (Higlyph)」等の製品のライセンス収入が増加したこと等により、これらの売上高がセグメント売上高の大半を占めるまでに至りました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は1,359百万円（前期比4.9%減）となりました。営業損益につきましては、先行投資による製造費用や営業費用の増加による影響で、250百万円のセグメント利益（前期比52.2%減）となりました。

② アプリケーション事業

当連結会計年度においては、「サービス領域への技術提供」を中心とした施策を展開した結果、運用収入、ロイヤリティ収入が増加し収益率も向上いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は503百万円（前期比35.5%減）となりました。営業損益については、開発リソースの効率化を推進した結果、製造費用の削減にいたりましたが、売上高の減少を吸収出来ず、11百万円のセグメント損失（前期は75百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

① 財政状態

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて46百万円増加し、2,581百万円となりました。これは、売掛金が167百万円、現金及び預金が48百万円それぞれ増加した一方、無形固定資産が103百万円、投資有価証券が62百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて452百万円増加し、800百万円となりました。これは、買掛金が111百万円、長短借入金が300百万円、繰延税金負債が38百万円増加したこと等が主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて405百万円減少し、1,781百万円となりました。これは、当期純損失により利益剰余金が483百万円減少したこと、有価証券評価差額金が70百万円増加したこと等が主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて57百万円減少し、1,173百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの概況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、228百万円（前連結会計年度は405百万円の増加）となりました。これは、非資金費用である減価償却費を198百万円、投資有価証券評価損を153百万円計上したこと並びに売上債権が167百万円増加したこと、税金等調整前当期純損失が478百万円生じたこと等が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、136百万円（前連結会計年度は298百万円の使用）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入が61百万円生じた一方、定期預金の預入による支出が106百万円、無形固定資産の取得による支出が81百万円生じたこと等が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、300百万円（前連結会計年度は408百万円の増加）となりました。これは、短期借入の純増による収入が250百万円、長期借入による収入が100百万円生じた一方、長期借入の返済による支出が49百万円生じたこと等が主な要因であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率 (%)	88.8	92.2	86.3	69.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	38.8	341.4	139.3	49.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	0.1	0.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	309.7	291.7	—

(注) 1. 各指標は、いずれも連結の財務数値を用いて、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：(自己資本/総資産) × 100

時価ベースの自己資本比率：(株式時価総額/総資産) × 100

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー/利息の支払額

- 有利子負債とは、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利息を支払っている全ての負債が対象となります。
- 営業活動によるキャッシュ・フロー及び利息の支払額は、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いています。
- 平成21年3月期及び平成24年3月期の連結会計年度におきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオについては記載しておりません。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社2社（HI CORPORATION America, Inc.、HI CORPORATION Singapore Pte. Ltd.）により構成されております。

当社グループはミドルウェアの企画・開発・ライセンス販売を主に行う「ミドルウェア事業」と、これらのノウハウを活用したサービスやコンテンツの企画・開発・制作・運用を主に行う「アプリケーション事業」を主たる事業としております。

連結子会社であったHI KOREA & Co. については平成24年1月30日に清算終了となっております。

3. 経営方針

- (1) 会社の経営の基本方針
- (2) 目標とする経営指標
- (3) 中長期的な会社の経営戦略
- (4) 会社の対処すべき課題

平成23年3月期決算短信（平成23年5月12日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略いたします。

当該決算短信は、次のURLをご参照下さい。

株式会社エイチアイ ホームページ

<http://www.hicrop.co.jp/>

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,417,966	1,466,551
売掛金	414,934	582,417
仕掛品	14,200	32,982
繰延税金資産	480	406
その他	48,059	41,624
貸倒引当金	△10,607	△14,885
流動資産合計	1,885,033	2,109,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,575	51,575
減価償却累計額	△34,683	△37,283
建物及び構築物（純額）	16,891	14,291
工具、器具及び備品	133,910	130,309
減価償却累計額	△115,281	△118,008
工具、器具及び備品（純額）	18,629	12,301
有形固定資産合計	35,520	26,593
無形固定資産		
ソフトウェア	206,828	103,163
その他	2,415	2,212
無形固定資産合計	209,244	105,375
投資その他の資産		
投資有価証券	317,887	255,125
差入保証金	84,824	85,117
繰延税金資産	85	—
その他	2,193	0
投資その他の資産合計	404,991	340,243
固定資産合計	649,755	472,211
資産合計	2,534,789	2,581,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,567	155,012
短期借入金	100,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	33,332	66,664
未払法人税等	8,540	5,024
受注損失引当金	3,343	—
その他	90,886	100,960
流動負債合計	279,670	677,661
固定負債		
長期借入金	66,668	83,338
繰延税金負債	94	39,006
その他	1,108	—
固定負債合計	67,871	122,344
負債合計	347,542	800,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,581	1,205,960
資本剰余金	953,104	953,482
利益剰余金	63,143	△420,715
株主資本合計	2,221,829	1,738,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136	70,374
為替換算調整勘定	△34,718	△27,798
その他の包括利益累計額合計	△34,582	42,576
純資産合計	2,187,247	1,781,302
負債純資産合計	2,534,789	2,581,308

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	2,210,432	1,863,133
売上原価	1,367,132	1,359,751
売上総利益	843,299	503,382
販売費及び一般管理費	728,059	734,396
営業利益又は営業損失(△)	115,240	△231,014
営業外収益		
受取利息	520	419
助成金収入	297	—
保険解約返戻金	—	5,950
債務取崩益	—	1,945
その他	442	813
営業外収益合計	1,259	9,128
営業外費用		
支払利息	844	5,271
株式交付費	1,440	247
為替差損	11,107	1,225
その他	118	48
営業外費用合計	13,511	6,792
経常利益又は経常損失(△)	102,988	△228,678
特別利益		
貸倒引当金戻入額	209	—
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	—	32,370
投資有価証券清算分配益	3,636	—
特別利益合計	3,849	32,370
特別損失		
固定資産除却損	416	403
投資有価証券評価損	—	153,951
減損損失	11,419	—
子会社清算損	—	17,118
経営統合関連費用	—	110,998
特別損失合計	11,835	282,472
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	95,002	△478,780
法人税、住民税及び事業税	3,938	4,919
法人税等調整額	15,013	159
法人税等合計	18,951	5,078
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	76,050	△483,859
当期純利益又は当期純損失(△)	76,050	△483,859

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	76,050	△483,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162	70,238
為替換算調整勘定	△11,347	6,920
その他の包括利益合計	△11,510	77,158
包括利益	64,540	△406,700
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	64,540	△406,700
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	1,095,740	1,205,581
当期変動額		
新株の発行	109,841	378
当期変動額合計	109,841	378
当期末残高	1,205,581	1,205,960
資本剰余金		
当期首残高	843,262	953,104
当期変動額		
新株の発行	109,841	378
当期変動額合計	109,841	378
当期末残高	953,104	953,482
利益剰余金		
当期首残高	△12,907	63,143
当期変動額		
当期純利益又は当期純損失(△)	76,050	△483,859
当期変動額合計	76,050	△483,859
当期末残高	63,143	△420,715
株主資本合計		
当期首残高	1,926,094	2,221,829
当期変動額		
新株の発行	219,683	756
当期純利益又は当期純損失(△)	76,050	△483,859
当期変動額合計	295,734	△483,103
当期末残高	2,221,829	1,738,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	298	136
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△162	70,238
当期変動額合計	△162	70,238
当期末残高	136	70,374
為替換算調整勘定		
当期首残高	△23,370	△34,718
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△11,347	6,920
当期変動額合計	△11,347	6,920
当期末残高	△34,718	△27,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△23,071	△34,582
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△11,510	77,158
当期変動額合計	△11,510	77,158
当期末残高	△34,582	42,576
純資産合計		
当期首残高	1,903,023	2,187,247
当期変動額		
新株の発行	219,683	756
当期純利益又は当期純損失(△)	76,050	△483,859
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△11,510	77,158
当期変動額合計	284,224	△405,944
当期末残高	2,187,247	1,781,302

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	95,002	△478,780
減価償却費	183,917	198,721
減損損失	11,419	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,209	4,277
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,343	△3,343
株式交付費	1,440	247
受取利息及び受取配当金	△520	△419
支払利息	844	5,271
為替差損益(△は益)	1,183	120
固定資産除却損	416	403
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△32,370
投資有価証券評価損益(△は益)	—	153,951
投資有価証券清算分配損益(△は益)	△3,636	—
保険解約返戻金	—	△5,950
固定資産売却損益(△は益)	△3	—
売上債権の増減額(△は増加)	91,324	△167,746
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,775	△18,782
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,038	111,444
未収・未払消費税等の増減額	3,794	△23,546
その他	18,069	32,568
小計	410,123	△223,933
利息及び配当金の受取額	520	419
利息の支払額	△1,391	△5,058
法人税等の支払額	△7,601	△5,764
法人税等の還付額	4,111	5,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	405,762	△228,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,122	△106,078
有形固定資産の取得による支出	△13,935	△6,861
有形固定資産の売却による収入	3	—
無形固定資産の取得による支出	△84,148	△81,636
投資有価証券の取得による支出	△191,915	△11,500
投資有価証券の売却による収入	—	61,830
投資有価証券の清算分配による収入	3,636	—
敷金の預入による支出	—	△377
保険積立金の解約による収入	—	8,214
その他	△78	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,559	△136,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	250,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出		△49,998
社債の償還による支出	△10,000	—
株式の発行による収入	218,242	509
財務活動によるキャッシュ・フロー	408,242	300,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,739	6,976
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	503,705	△57,493
現金及び現金同等物の期首残高	727,036	1,230,742
現金及び現金同等物の期末残高	1,230,742	1,173,249

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更
(連結の範囲の変更)

連結子会社の数

前期 3社 当期 2社

連結子会社の名称

HI CORPORATION America, Inc.

HI CORPROATION Singapore Pte.Ltd.

連結除外となった子会社の名称

HI KOREA & CO.

連結除外となった理由

HI KOREA & CO. は平成24年1月30日で清算終了となったため連結の範囲から除外しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前連結会計年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は各事業を統括する組織体制として事業部を設置し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業部を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「ミドルウェア事業」、「アプリケーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ミドルウェア事業」は、ミドルウェアのライセンス供給、モバイル機器等向けのシステム構築、開発を行っております。

「アプリケーション事業」は、モバイルコンテンツの企画及び開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は製造原価によっております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

	ミドルウェア 事業(千円)	アプリケーション 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	1,429,187	781,244	2,210,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	40,477	1,895	42,372
計	1,469,664	783,139	2,252,804
セグメント利益	523,689	75,761	599,450
セグメント資産	444,459	401,830	846,290
その他の項目			
減価償却費	155,375	21,228	176,603
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	80,603	15,078	95,682

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	
報告セグメント計(千円)	599,450
全社費用(千円)	△484,210
連結財務諸表の営業利益(千円)	115,240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

資産	
報告セグメント計（千円）	846,290
全社資産（千円）	1,688,499
連結財務諸表の資産合計（千円）	2,534,789

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。

その他の項目	報告セグメント計	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費（千円）	176,603	7,313	183,917
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 （千円）	95,682	4,317	100,000

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社資産の設備投資額であります。

II 当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は各事業を統括する組織体制として事業部を設置し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業部を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「ミドルウェア事業」、「アプリケーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ミドルウェア事業」は、ミドルウェアのライセンス供給、モバイル機器等向けのシステム構築、開発を行っております。

「アプリケーション事業」は、モバイルコンテンツの企画及び開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は製造原価によっております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

	ミドルウェア 事業（千円）	アプリケーショ ン事業（千円）	合計（千円）
売上高			
外部顧客への売上高	1,359,294	503,838	1,863,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,380	1,634	7,014
計	1,364,674	505,472	1,870,147
セグメント利益又はセグメント損失（△）	250,334	△11,085	239,248
セグメント資産	582,339	311,169	893,509
その他の項目			
減価償却費	172,461	19,703	192,164
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	79,618	4,006	83,625

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	
報告セグメント計（千円）	239,248
全社費用（千円）	△470,263
連結財務諸表の営業損失（千円）	△231,014

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

資産	
報告セグメント計（千円）	893,509
全社資産（千円）	1,687,799
連結財務諸表の資産合計（千円）	2,581,308

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。

その他の項目	報告セグメント計	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費（千円）	192,164	6,556	198,721
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 （千円）	83,625	2,729	86,354

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社資産の設備投資額であります。

b. 関連情報

I 前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

日本（千円）	欧州（千円）	北米（千円）	アジア（千円）	合計（千円）
1,939,335	66,150	168,387	36,559	2,210,432

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高（千円）	関連するセグメント名
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	724,125	ミドルウェア事業 アプリケーション事業
ブラザー工業株式会社	251,142	ミドルウェア事業

II 当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

日本（千円）	欧州（千円）	北米（千円）	アジア（千円）	合計（千円）
1,721,065	16,974	106,709	18,383	1,863,133

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高（千円）	関連するセグメント名
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	251,499	ミドルウェア事業 アプリケーション事業
シャープ株式会社	219,437	ミドルウェア事業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

	ミドルウェア 事業（千円）	アプリケーション事業（千円）	全社・消去 （千円）	合計 （千円）
減損損失	11,419	－	－	11,419

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
1株当たり純資産額 70,640.68円	1株当たり純資産額 57,509.61円
1株当たり当期純利益金額 2,577.05円	1株当たり当期純損失金額(△) △15,621.78円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 2,402.49円	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,187,247	1,781,302
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,187,247	1,781,302
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	30,963	30,974

2. 1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	76,050	△483,859
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	76,050	△483,859
期中平均株式数(株)	29,510	30,973
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	2,144	—
(うち新株予約権)	(2,144)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—————	新株予約権2種類 (2,364個、591個)

(重要な後発事象)

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

共同株式移転による持株会社の設立

平成24年1月26日開催の臨時株主総会において、当社及び株式会社セルシスが共同株式移転による完全親会社「アートスパークホールディングス株式会社」を設立することが承認可決されました。

平成24年4月2日付けでアートスパークホールディングス株式会社が設立され、当社は同社の完全子会社となりました。

名称	アートスパークホールディングス株式会社
住所	東京都新宿区西新宿四丁目15番7号
代表者の氏名	代表取締役会長 川端一生 代表取締役社長 村上匡人
資本金	1,000百万円
事業の内容	クリエイターサポート事業、電子書籍サポート事業、ミドルウェアの企画開発・ライセンス販売・サポート、コンテンツ及びサービスの企画制作・運用等を行う会社の経営管理及びそれに付帯又は関連する事業等
株式移転を行った主な理由	両社経営資源及び共通する要素技術の相互有効活用により、製品群の多様化、新たな事業領域の創出を目的とするもの。
株式移転日	平成24年4月2日